

●低フリクション化

燃費向上に寄与する低フリクション化技術として、ピストンにモリブデンパターンコーティングを施すとともに、摩擦を低減するローラー式のロッカーアームには二輪車初※の軽量アルミ素材を採用しました。

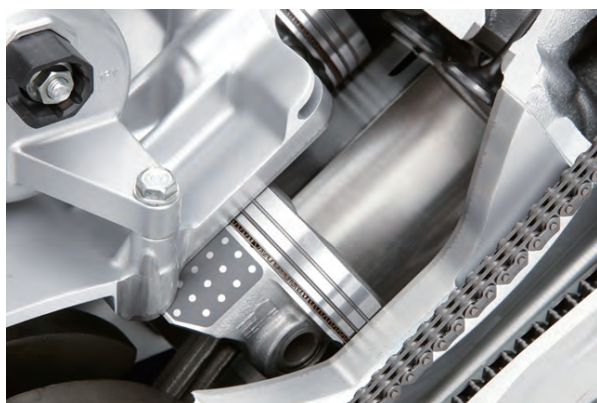
また、オイルポンプを balanser シャフト駆動、ウォーターポンプをカムシャフト駆動とするなど、補機駆動用に専用の軸を設けずに機能を集約することで、徹底した低フリクション化を図りました。

※ Honda 調べ 2012 年 2 月現在

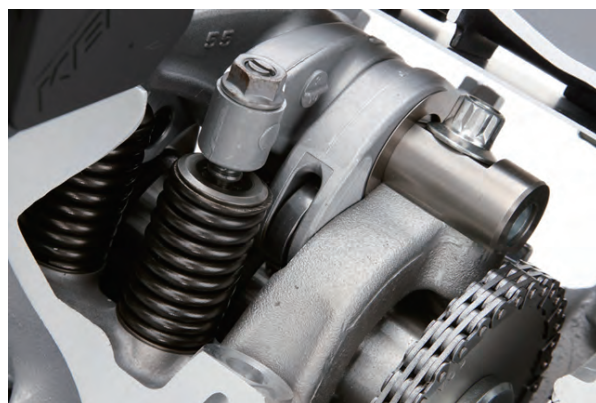
●コンパクト化

カムシャフトからウォーターポンプの回転駆動力を得るために、シリンダーヘッド左側面にウォーターポンプを配置することで、配管を短くコンパクトにすることが可能となり、ウォーターホース総延長を標準的なレイアウトの同クラス車に比べ約 1/3 に短縮しました。それによってもって冷却水の容量が減り、軽量化に寄与するとともに、外観上もすっきりとした配管となっています。また、低・中回転型というエンジンの特性から、カムシャフトの回転速度でウォーターポンプを駆動できるため、エンジンのコンパクト化に寄与しています。

■モリブデンパターンコーティング ピストン



■アルミ ロッカーアーム



■balanser シャフト駆動 オイルポンプ



■カムシャフト駆動 ウォーターポンプ

